ヨド物置 エポミニ

組立説明書

YMEM-1205H、1207H、1209H、
1305H、1307H、1309H、
1505H、1507H、1509H、
1605H、1607H、1609H、
1805H、1807H、1809H、
1505E、1507E、1509E型

このたびは〈ヨド物置 エポミニ〉をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
なお、この説明書は、1807H型を基準に書いてありますが、組立方法は、どの機種も同じです。

設置場所の制限

⚠

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- 屋のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。

組立施工の際には

⚠ 注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- 組立の際には手袋を着用してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- 高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

※組立完了後、組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

①市販のコンクリートブロック（幅19cm×長さ19cm×高さ10cm）を、6個ご用意下さい。
②部材はすべて鋼製ですので、手を切らないようくれぐれもご注意下さい。
③強風による転倒防止の為、本体支持金具を取り付け針金等で母屋などに接続固定して下さい。物置内部に重量物を入れていただくとより安全です。
④屋根の排水溝に落葉やゴミがたまると雨ドイがつまる原因になりますので、定期的に掃除をして下さい。

梱包組合せ表

梱包名＼機種名	1205H	1207H	1209H	1505H	1507H	1509H	1805H	1807H	1809H
屋根梱包	N3-5001	N3-5002	N3-5003	N3-5004	N3-5005	N3-5006	N3-5007	N3-5008	N3-5009
側壁梱包	N3-5101	N3-5102	N3-5103	N3-5101	N3-5102	N3-5105	N3-5101	N3-5102	N3-5107
後壁梱包	N3-5201	N3-5201	N3-5104	N3-5202	N3-5202	N3-5106	N3-5203	N3-5203	N3-5108
扉梱包	N3-5301	N3-5301	N3-5301	N3-5302	N3-5302	N3-5302	N3-5303	N3-5303	N3-5303
棚梱包	N3-5401	N3-5402	N3-5403	N3-5404	N3-5405	N3-5406	N3-5407	N3-5408	N3-5409
床梱包	N3-5501	N3-5502	N3-5503	N3-5504	N3-5505	N3-5506	N3-5507	N3-5508	N3-5509

梱包名＼機種名	1305H	1307H	1309H	1605H	1607H	1609H	1505E	1507E	1509E
屋根梱包	N3-5010	N3-5011	N3-5012	N3-5013	N3-5014	N3-5015	N3-5004	N3-5005	N3-5006
側壁梱包	N3-5101	N3-5102	N3-5109	N3-5101	N3-5102	N3-5111	N3-5113	N3-5114	N3-5115
後壁梱包	N3-5204	N3-5204	N3-5110	N3-5205	N3-5205	N3-5112	N3-5206	N3-5206	N3-5206
扉梱包	N3-5304	N3-5304	N3-5304	N3-5305	N3-5305	N3-5305	N3-5306	N3-5306	N3-5306
棚梱包	N3-5410	N3-5411	N3-5412	N3-5413	N3-5414	N3-5415	N3-5404	N3-5405	N3-5406
床梱包	N3-5510	N3-5511	N3-5512	N3-5513	N3-5514	N3-5515	N3-5504	N3-5505	N3-5506

梱包別部品一覧表

ご確認のうえ、説明書に従って組立てて下さい。

屋根梱包

梱包番号	N3-5001・5004・5007・5010・5013	N3-5002-5003-5005-5006-5008-5009-5011-5012-5014-5015
屋根	1	1
下枠前	1	1
下枠後	1	1
下枠側	2	2
鴨居	1	1
根太	1	1
天井ボード	1	1
コーナー金具	4	4
後壁固定金具	4	4
棚受金具	20	−

梱包番号	N3-5001・5004・5007・5010・5013	N3-5002-5003-5005-5006-5008-5009-5011-5012-5014-5015
屋根止結金具	4	4
天井押え	4	4
本体支持金具	2	2
ボルト（ブラウン）	2	2
ボルト（アイボリー色）	43※予備2本含む	43※予備2本含む
ボルト（大）	8	8
T型スパナ	1	1
水準器	1	1
組立説明書	1	1
取扱説明書	1	1

側壁梱包　側壁・後壁梱包

梱包番号	N3-5101・5102 5113・5114・5115	N3-5103・5105・5107 5109・5111	N3-5104・5106・5108 5110・5112
側壁右	1	1	
側壁左	1		1
後壁		1	1
棚柱	1		1
後間柱	1		1
後間柱カバー	1		1
エルボ	2		2

後壁梱包

梱包番号	N3-5201・5202・5203 5204・5205・5206
後壁	2

※ボルト（アイボリー色）は、アンカープレートを使用しない場合には4本残ります。

扉梱包

梱包番号	N3-5301・5302・5303・5304・5305・5306
扉右	1
扉左	1

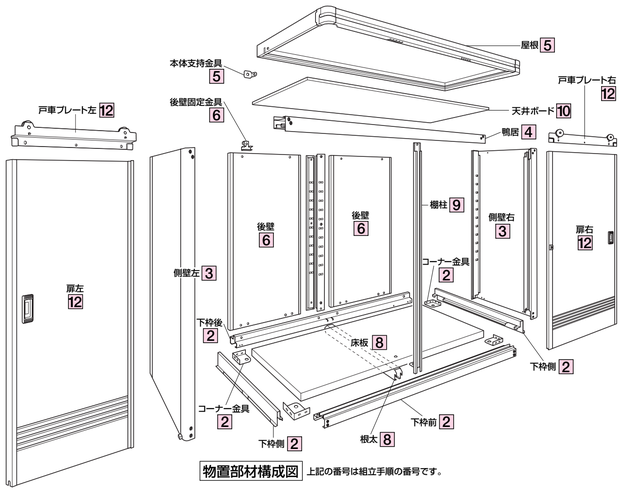
棚梱包

梱包番号	N3-5401・5404・5407 5410・5413	N3-5402・5403・5405 5406・5408・5409 5411・5412・5414・5415
棚板	5	6

床梱包

梱包番号	N3-5501・5504・5507 5510・5513	N3-5502・5503・5505 5506・5508・5509 5511・5512・5514・5515
床板	1	1
アンカープレート	4	4
戸車プレート右	1	1
戸車プレート左	1	1
棚受	−	6

完成図



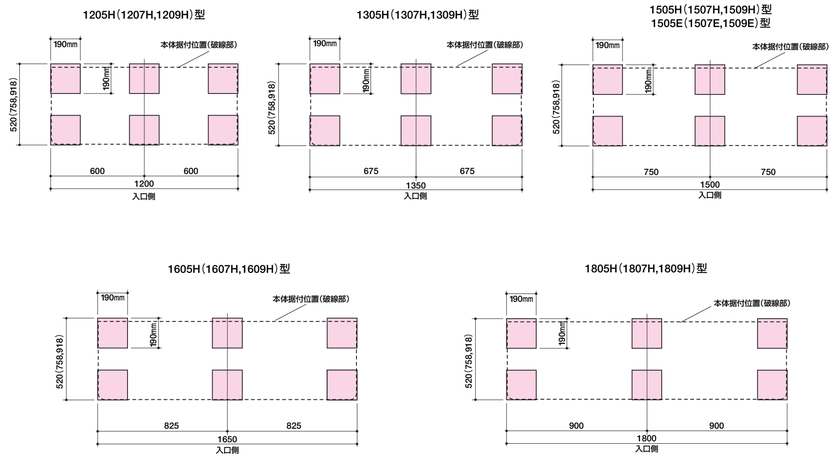
物置部材構成図　上記の番号は組立手順の番号です。

鍵は、扉右の取手に貼り付けてあります。

1 コンクリートブロックの据付け

コンクリートブロックを図の寸法に並べます。（必ず水平を出して下さい。）

ブロックと本体の前面を合わせて下さい。後ろはブロックが10mm出ます。



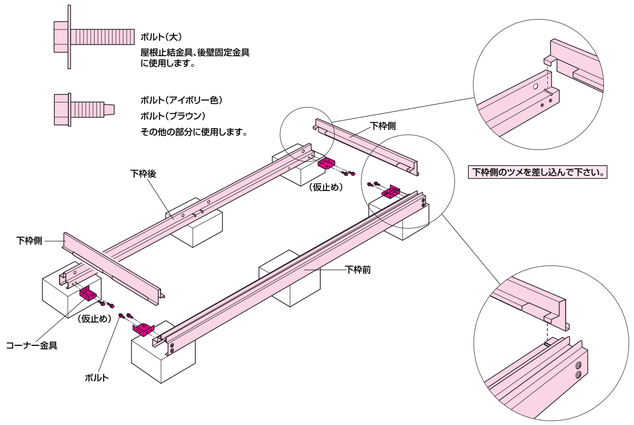
2 下枠の組立て

①**コーナー金具**を**下枠前、下枠後**に**ボルト（アイボリー色）**で仮止めして下さい。
②**下枠側**を**下枠前、下枠後**に取付けます。

ボルトを間違えないよう注意して下さい。

ボルト（大）
屋根止結金具、後壁固定金具に使用します。

ボルト（アイボリー色）
ボルト（ブラウン）
その他の部分に使用します。



下枠側のツメを差し込んで下さい。

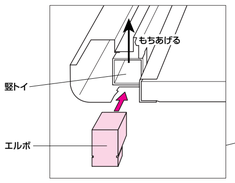
3 側壁の組立て

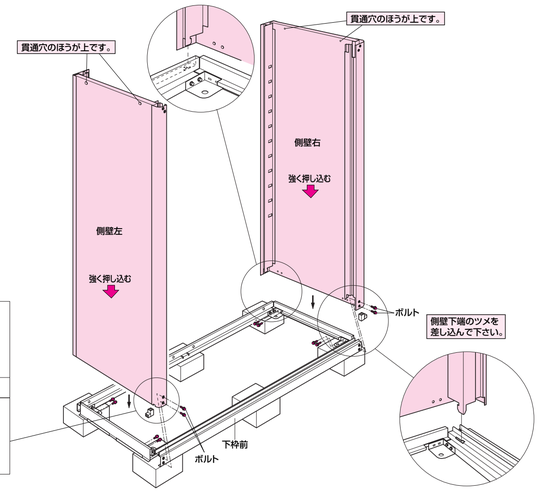
①**側壁**下端の切り欠きに、**エルボ**の切込みを沿わせながら、エルボを側壁の中にある**竪トイ**に取付けて下さい。
②**側壁**を下枠に取付け、**ボルト（アイボリー色）**で固定して下さい。2 で仮止めしたボルトも締めて下さい。

※側壁は外向きには自立する構造になっていますが、内向きには倒れる可能性が有ります。強風時は特にご注意下さい。

確認

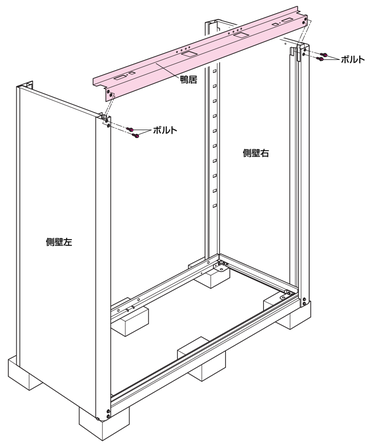
竪トイを少し壁から浮かせると取付けやすくなります。竪トイがエルボの中に入ったことを確認して下さい。取付不良は漏水の原因になります。





4 鴨居の取付け

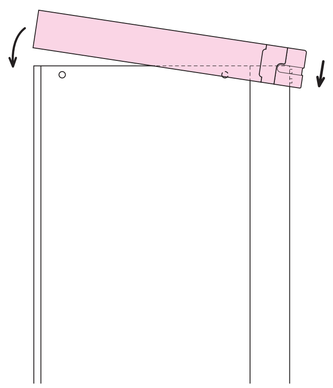
鴨居を**側壁左、右**の上端にはめ込んで**ボルト（アイボリー色）**で固定して下さい。

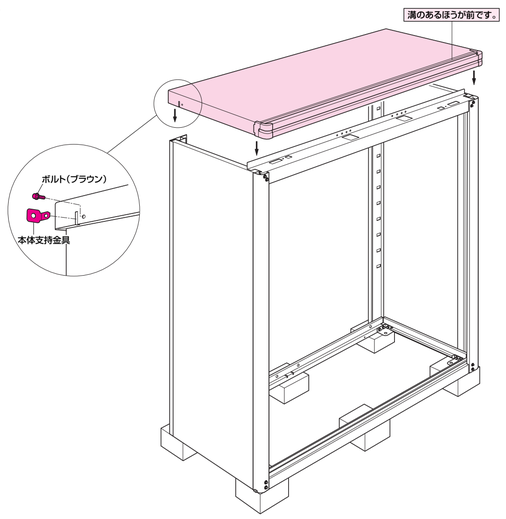


5 屋根の組立て

①**屋根**を**側壁**と**鴨居**の上にかぶせます。このとき、**屋根**の前側を先にはめ込んで下さい。
②**本体支持金具**を**屋根**の側面に後方より挿入して**ボルト（ブラウン）**で固定して下さい。
強風による転倒防止のため針金等で本体支持金具と母屋とを固定して下さい。

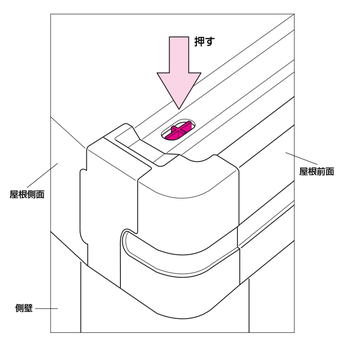
正面のボルトが隠れるまで前をかぶせてから後ろをはめ込みます。



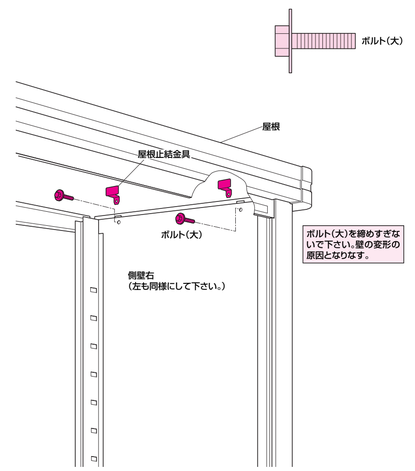


確認

屋根の前隅にある十字部分を上から押して、中の部品がはずれていないか確認して下さい。
漏水の原因となりますので、はずれているときは屋根をおろして、部品を取付け直して下さい。



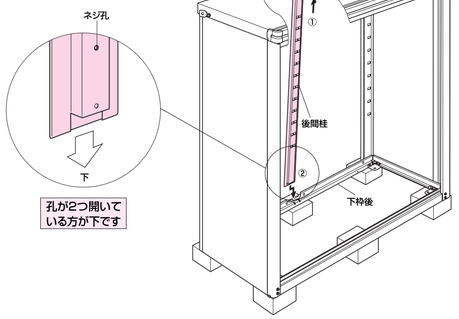
③**屋根**の角穴に**屋根止結金具**を差し込み、**ボルト（大）**を**側壁**の丸穴に差し込んで**側壁**と**屋根**を固定して下さい（計4ヶ所）。



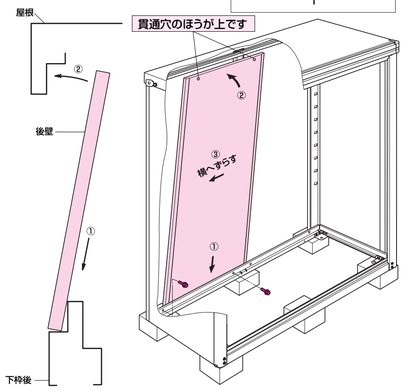
6 後壁の取付け

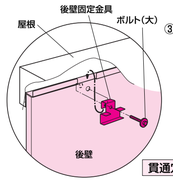
①**後間柱**を**屋根**の後側下面の角孔に差し込んでから、**下枠後**の角孔に落とし込みます。

②**後壁**を**下枠後**にはめ込み、垂直に立ててからずらして**側壁**にはめ込みます。

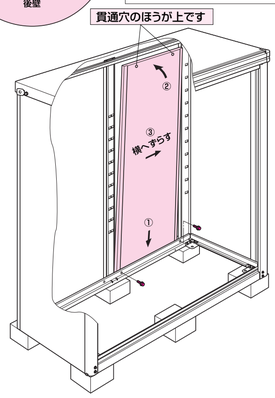


断面図

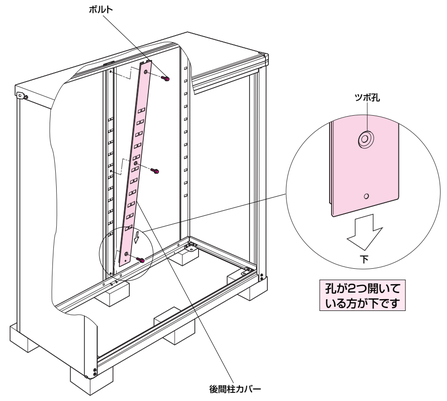




③**後壁固定金具**を**屋根**の切欠きに差し込み、**後壁**をはさみ込んでボルト(大)で仮止めします。もう一枚の後壁も同様に取付けて下さい。**後間柱カバー**を取付け後に本締めして下さい。

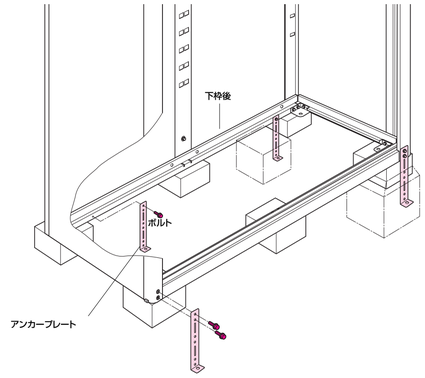


④**後間柱カバー**を**後間柱**と**下枠後**のすき間に落とし込み**ボルト(アイボリー色)**で**後間柱**に固定します。③で仮止めした**ボルト**も固定して下さい。



7 アンカープレートの取付け

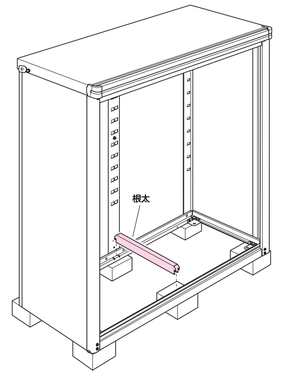
本体支持金具で母屋などに固定出来ない場合には、**アンカープレート**を**ボルト(アイボリー色)**で取付け、コンクリートを打ち込んで下さい。



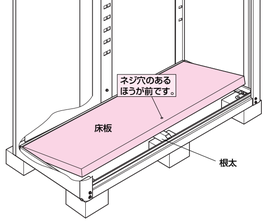
柱に取付けたボルトをいったん外して、アンカープレートを取付けて下さい。

8 床板の取付け

①**根太**を**下枠前**、**下枠後**に差し込みます。

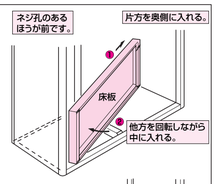


②**床板**を**下枠前**と**下枠後**との間にのせます。
(注)ネジ穴のあるほうが前です。

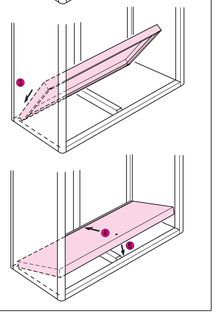


床板の入れ方

床板のネジ孔の方を上側にして片方を奥側に入れ他方を回転しながら中に入れる。



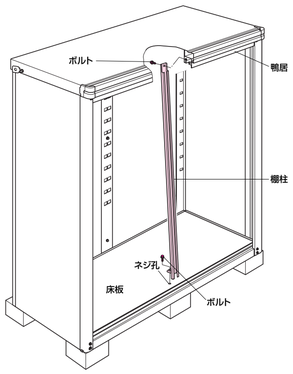
床板の後ろ側を下枠後の段差にのせて下さい。



床板の前側を下枠前の段差に落し込んで下さい。

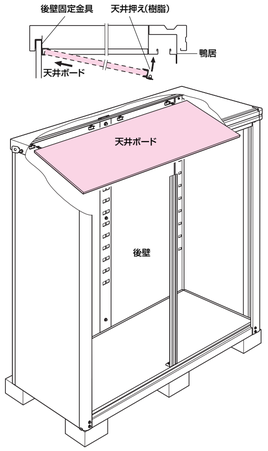
9 棚柱の取付け

棚柱を**鴨居**、**床板**に**ボルト(アイボリー色)**で固定します。



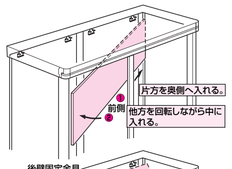
10 天井ボードの取付け

①**天井ボード**の後側を後壁固定金具にはめ込みます。
②**天井押え**を**天井ボード**の前側に取付け、天井ボードを持ち上げて、天井押えを**鴨居下面**の角孔にはめ込みます。

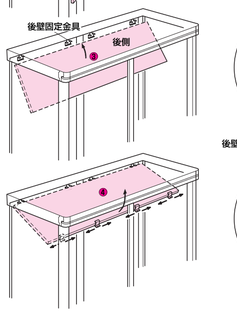


天井ボードのはめ方

天井ボードを斜めにして挿入して下さい。

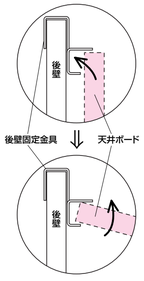


天井ボードの後側を後壁固定金具に挿入して下さい。右の断面図のように、ボードを金具に沿わせるとはめやすくなります。



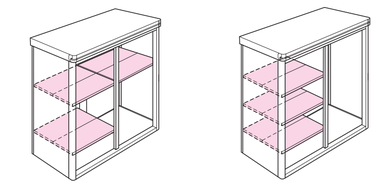
天井ボードの前側に天井押さえを取付け、上方に持ちあげて下さい。

断面図

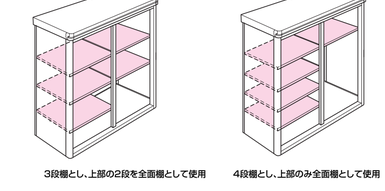


11 棚板の取付け

棚板取付け例 (1207H、1307H、1507H、1607H、1807H、1507E、1209H、1309H、1509H、1609H、1809H、1509Eの場合)



(1205H、1305H、1505H、1605H、1805H、1505Eの場合)

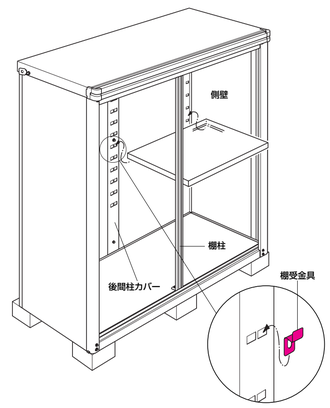


1205H、1305H、1505H、1605H、1805H、1505Eの取り付け方

棚受金具を**側壁**、**棚柱**、**後間柱カバー**の角穴に差し込んで**棚板**を乗せて下さい。

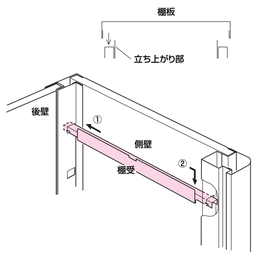
(1205H、1305H、1505H、1605H、1805H、1505Eの場合)

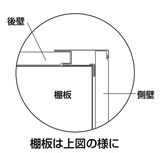
側壁には前後2カ所に棚受金具を使用して下さい



1207H、1307H、1507H、1607H、1807H、1507E、1209H、1309H、1509H、1609H、1809H、1509Eの取り付け方

①**棚受**を**側壁**の後方、また**後間柱カバー**の角穴に差し込んで下さい。
②次に前の方を**側壁**の**前方**、また**棚柱**の角穴に差し込み切り欠き部を角穴に落し込んで下さい。
(注)**棚受**の立ち上がり部は**棚板**の脱落防止を兼ねていますので必ず**棚板**の内側にくるように取り付けて下さい。



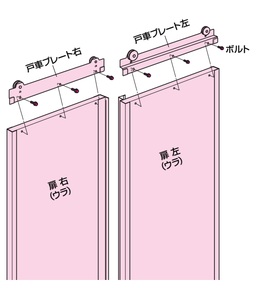


棚板は上図の様に取り付けて下さい。

12 扉の吊り込み

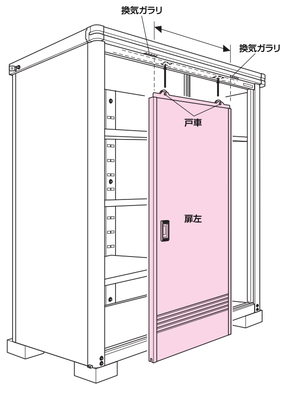
①**戸車プレート左**、**右**をそれぞれ**扉左**、**右**に**ボルト(アイボリー色)**で固定します。このとき、プレートの向きに注意して下さい。

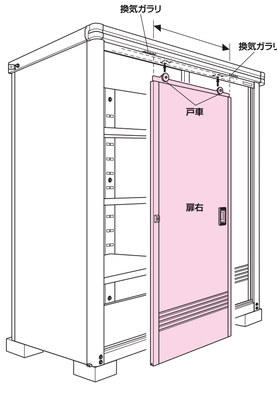
②左側に取手のある**扉左**から吊り込んで下さい。扉の戸車を鴨居の切り欠き2ヶ所に差し込み、扉を吊り込んで下さい。吊り込み完了後**扉左**を右端に寄せておいて下さい。
③次に**扉右**を同じ要領で吊り込んで下さい。



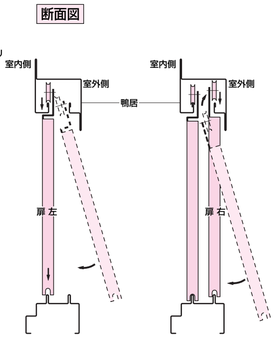
戸車プレートには部材名の刻印があります

吊り込み位置の目安として、扉のラインを屋根の換気ガラリの内側に合わせて下さい。



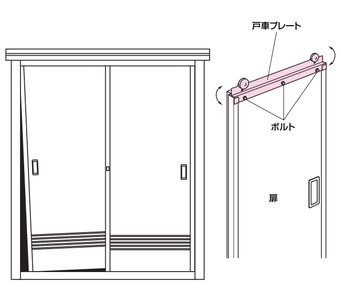


断面図



13 建付の調整

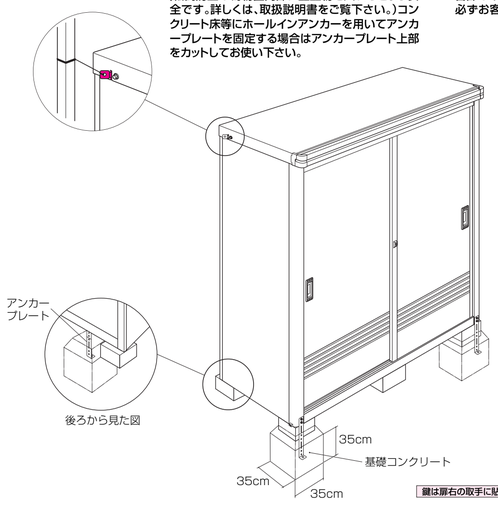
扉を閉めた時図のように隙間ができるような場合は、戸車の調整ボルトをゆるめ、(扉1枚につき3本)調整して下さい。



14 組立完成図

①転倒防止の為必ず本体支持金具に針金を通し、母屋などに固定して下さい。又は、アンカープレートを前後4ヶ所に取付け、コンクリートを打ち込んで下さい。(転倒防止の為物置内部に重量物を入れるとより安全です。詳しくは、取扱説明書をご覧下さい。)コンクリート床等にホールインアンカーを用いてアンカープレートを固定する場合はアンカープレート上部をカットしてお使い下さい。

②鍵は扉右の取手に貼り付けてあります。(鍵にきざまれている鍵番号をノートにひかえて下さい。)
③最後に各部の直角を確認して下さい。また、組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認し、必ずお客様に取扱説明書をお渡し下さい。



鍵は扉右の取手に貼り付けてあります。

(エポミニ)
ヨドコウ
淀川製鋼
(2000・4月制作)